



第 129 号

千葉市肢体不自由児者父母の会

会長 中島 哲男

編集人 父母の会広報部

千葉市美浜区磯辺2-21-1

TEL・FAX 043(303)0582

fubonokai@ia4.itkeeper.ne.jp

第58回総会

平成28年5月12日(木)、千葉市ハーモニープラザ多目的ホールにおいて、第58回千葉市肢体不自由児者父母の会総会が開かれました。

中島会長の挨拶に続き、4月に着任された千葉市保健福祉局高齢障害部長 鳩川進一様はじめご来賓の方々にご祝辞をいただきました。



次に今年

成人を迎えられた町田健太朗さんに記念品が贈呈されました。

議事に入り、第1号議案として、平成27年度事業報告、収支決算報告ならびに会計監査報告、第2号



記念品を受けとりニコリ！

され、すべて承認されました。今年度も総会が無事終了し、新たな年度がスタートしました。

議案として平成28年度事業計画案、予算案が提案



新任のご挨拶

千葉市保健福祉局高齢障害部長

鳩川 進一

新たに、高齢障害部長に就任いたしました鳩川進一でございます。

千葉市肢体不自由児者父母の会会員の皆様におかれましては、日頃より本市障害福祉行政の推進に格別のお力添えを賜っておりますこと、厚く御礼申し上げます。

さて、障害者総合支援法の施行から10年を迎え、法定サービスを基本とした既存の制度の拡充のみでは、解決が



こあいさつ

会長 中島 哲男

本日、千葉市役所保健福祉局高齢障害部長、鳩川進一様はじめ多数のご来賓をお迎えして総会を開催できました。誠にありがとうございます。会員の皆様には、日頃から父母の会の事業にご支援、ご協力を賜り誠にありがとうございます。

日本が国連の「障害者の権利に関する条約」を批准するために、平成26年に交付された「障害者差別解消法」が本年4月に試行されました。障害のない人もある人も社会生活は、平等の権利を有するため「不当な差別的取扱い」と「合理的配慮の不提供」が禁止され

るという法律です。

父母の会は、地域社会において障害のあるなしにかかわらずお互いを尊重し合う共生社会の実現を目指し、地道な努力と運動を推進して行かねばなりません。

私たちは、本日お越しいただいてる来賓の皆様はじめ、社会の多くの方に支えられて活動している事に対し、深く感謝申し上げます。

今後とも一層のご支援、ご協力をお願い申し上げますとともに、皆様方のご健勝を祈念致しまして、ご挨拶とさせていただきます。

期間が3年間と短く、総合的かつ長期的な視点をもったビジョンとなくいたため、本年度、障害福祉施策の10年後を見据えた「中長期指針」を策定する予定です。

同指針の策定にあたっては、障害者団体の皆様のご意見・ご要望をお聞きして反映して参りたいと考えておりますので、引き続き、皆様の一層のご支援・ご協力を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。

結びに、貴会のますますのご発展と、会員皆様のご健勝を心から祈念いたしまして、新任のご挨拶とさせていただきます。

本市においては、すべての障害者が地域で自立した生活を送ることができ、差別や社会的障壁による権利侵害のない「安らぎのあるあたたかな共生社会」の実現を目指して、各種施策の充実に努めているところですが、現行の千葉市障害者計画及び障害福祉計画の対象

育・成・旅・行

江戸東京博物館へ

3月3日(木)こころの健康センターに25名が集合し、両国国技館の裏にある江戸東京博物館へ向け、たいよう号にて出発しました。

渋滞もなく少し早めに到着し、集合写真の後は、「桜茶寮」での松花堂弁当の昼食でした。天ぷらやお吸い物などの温かいものが提供され、参加者の方にもご満足いただけたと思います。

館内はバリアフリーとなっていて、移動もスムーズでした。常設展では、江戸から東京へと変化していく様子が



みんなそろってハイチーズ！

さまざまな展示をとおして楽しむことができた。大人から子どもまで一日を過ごせるのではないのでしょうか。

帰りの道も時間どおりに戻れましたのも、皆様のご協力のおかげと感謝しております。ありがとうございました。

(厚生部 浅野)



大きな建物がたくさんありました

●参加者の声●

江戸東京博物館へ行くのは、私も娘も初めてだったので、すごく楽しみにしていました。今回、減多に見る事ができないイタリアが生んだ天才「レオナルド・ダ・ヴィンチ展」を見ました。思ったよりも混雑しておらず車いすでも充分見る事ができました。日本初公開の絵画「糸巻きの聖母」に感動！

後の「モナリザ」に通じる空気を感じた気がしました。娘は興味がなかったのか不機嫌でしたが、その後、館内を見て実物大の日本橋を渡ったりと江戸時代にタイムスリップした様で楽しかったです。今回、参加させて頂き初めての方とも色々な話ができて、楽しい時間を過ごせてよい一日となりました。

(市原照美)

保護者の親睦旅行
佐原方面

平成28年 6 月 8 日(水)

たいよう号の窓からの陽ざしを浴びながら水郷の街佐原に向けて出発しました。利根川の水運を利用して栄えた「小江戸さわら」に到着後「小野川町並舟めぐり」でゆったりと柳越し

に伝統的建造物の商家を見物し、山車会館を見学。しょうゆジェラートを食べたり、自由散策したり。

昼食は古民家を和モダンに改装された「カーサ・アルペラータ」でイタリアで修行したシェフの極上のランチを堪能できました。その後佐原水生植物園へ。紫白黄ピンクのアヤメ、ハナシヨウブが咲き乱れ、目を楽しませてくれました。「楽しかったわ。」という声を頂きありがとうございました。

(厚生部 大坂)



小舟にのって のんびり街めぐり

●参加者の感想●

天気予報がうまくはずれて、すがすがしい天候のなかの小旅行でした。

数年前に佐原に訪れた時と比べて、和モダンなお店が増え、あやめ祭りの時期ということもあり、たくさんの人でにぎわっていました。

イタリアンの昼食は、なかなか食べられないような食材や調理法で洗練されていていたので、一品ずつ味わうことができ、素敵のひとつでした。その後は見頃をむかえたあやめの花々を、夢中でカメラのシャッターを押して続けていました。またこのような企画にぜひ参加したいと思います。厚生部の皆様お世話になりました。

(橋本美保子)



水郷佐原水生植物園

シーティング研修会

— 座学とモニターによる装着体験 —

全肢連の依頼により、県肢連との共催で去る6月9日(木)ハーモニープラザ多目的ホールにて、講師に(株)アクセスインターナショナルより菅原淳氏・熊谷吉倫氏。全肢連事務局より瀧口智晴氏を、お招きし開催しました。

参加者43名(他市も含めて)

「アクセスインター

ナショナル」紹介

1990年に自らが車いす使用者である山崎康広氏が設立。米国留学中に障害を負い、米国でリハビリを受け、大学卒業後の1985年に帰国した際、日本製の福祉機器と当事者に選択肢がない事に憤り、自らも使用していた米国の優れた障害者関連機器の輸入販売を開始しました。

1993年、米国で「車いすシーティング」と出会い、その優れた考え方や技術を日本に紹介して普及させるために全国でシーティングセミナーを開催し、今年で21年目を迎えています。

車いすシーティングは、障害のある方の身体の一部として「移動の道具」から「生活の場」に変えることに成功しました。全ての車いす使用者の悪い姿勢による変形や褥瘡などの二次障害を防止して機能性を向上し、自立した生活の支援をする。それを理念として活動しています。



装着体験をして

田中 朝子

「最高！」感想を聞かれたとき思わず出た言葉です。以前からアクセスの車いすが気になり、福祉機器展に行った時に座ってみたことがありました。

今回、シーティングを体験して本当に良かったです。お尻がピタッと入り背中も真っ直ぐになって足と腕がとても楽でした。車いす用のテーブルも透明で、足元がよく見え安心して動かせるのも気に入りました。アクセスの車いすを絶対に使いたいと思いました。

参加者の声

たくさんさんの感想をいただきました。主な内容をまとめ記載します。

・移動手段と思っていた車いすがシーティングで本人の状態改善ができることを知り、座っているだけで乗り心地など言えない娘には、外からの軽減改

善策は重要なのだと実感しました。

・モニターになった方が、良い姿勢のまま長時間普通でいたことに驚いた。

・骨盤の位置を直すことで、姿勢も変わり、呼吸にも影響がでると思いませんでした。骨盤の位置の大切さが、とてもよくわかりました。

・PTの方や医師・業者の方の間で広まることを願っています。

・何回聞いても新たな気づきがあり、シーティングの大切さを再認識できました。広めてほしいと思いました。

その他、感謝の言葉も多くあり「車いすシーティング」の関心が高まった研修会になりました。(友野)



夏期支援

◇7月27日(木)

○スポーツレクリエーション

千葉県障害者スポーツセンター講師の穴倉先生をお招きして、ハンドアーチェリー等、ゲームをしながら楽しく体を動かします。

◇8月25日(木)

○武内和美先生による音楽療法

音楽に合わせてリラクゼーションしながら楽しいひとときを過ごします。

両日とも

時間 10時30分～12時

場所 ハーモニープラザ多目的ホール

プール事業参加者募集

親子でハーモニープラザのプールに入り緊張を緩め、ゲームや体操を楽しみながら水と親しんでいます。また障害児者の水泳指導に携わる「ゆめけん」による講習会を年3回実施、充実したプール活動になっております。ぜひご参加ください。

日時 毎月第3日曜日

13時30分～15時30分

「ゆめけん」の指導

7月31日 9月18日

10月16日

都合により日程変更あり。詳しくは父母の会にお問い合わせ下さい。

申し込み・問い合わせ先

父母の会事務所(303)0582

平成28年度父母の会運営役割

会 長 中島 哲男

副会長 友野 ルル・田中扶美子・菊池 恵美・西長 和子

監 事 草刈由美子・増田みすず

部名	部 員 名	活 動 内 容
総務部	会長 副会長 部長 副部長	・理事会及び総会の運営 ・事業の企画立案
研修部 (5名)	◎西長 和子 富井るり子 ○山中 雅美 小金澤さとみ ○長谷川美幸	・子ども達の進路確保及び 福祉向上のための調査・研究 ・施設見学・講演会 他
広報部 (4名)	◎橋本美保子 大村 千佳 ○近藤 美紀 箱石由美子	・会報「のびる」の発行 3回/年間 ・「父母の会だより」の発行(随時)
厚生部 (4名)	◎浅野真由美 栗飯原礼子 ○大坂 光世 栗原美由紀	・会員相互の親睦と交流を図る ための行事の企画実施 ・育成旅行
行事部 (4名)	◎池上 玲子 平子 愛子 ○野田 純子 有田 克子	・クリスマス会 ・夏期休暇支援
◎印 部長 ○印 副部長		

活 動 報 告

5月12日 第58回総会

5月23日 県肢連総会

5月30日 すずらん会バザー

6月8日 保護者の親睦旅行

佐原方面

6月9日 研修会「シーティング」

7月13日 研修会

「わが子のライフステージ
を考える」

総務会 4月4日・7月4日

理事会 4月11日・6月13日

7月11日

ウィンズめーる



わが家の

できごと

増田みすず

わが家の最近一番
にお便りしたいでき
事は、娘がグルー
プホームで暮らし始
めたことでしょうか。

ホームで暮らし始めたことではちよっぴり残念ですが、新たな暮らしの場として、地域に根づいていくことを心から願っています。

「地域で暮らす」ということについて

では、改正された障害者基本法でも地域において人々と共生する(みんなと一緒に)にまちで暮らすことが掲げられています。福祉施策もこの法律に基づいて大きく変わったように思います。

「共生する」ということについては、障害の有無にかかわらず人権が尊重され、社会的障壁(障害のある人が暮らしにくかったり、生きる妨げとなるような物、制度、習慣や考え方)で困っている場合には合理的配慮がなされ、あらゆる分野の活動に参加する機会が保証されることも掲げられています。

そもそも、障害者基本法が改正されたり、差別解消法が作られるに至ったのは、2014年に国連の「障害者の権利に関する条約」を批准するために法律を整える必要があったからとのこと。先頃、福祉系の大学で学んだ次第です。国外からの働きかけもあってのことですが、私達にとっては喜ばしいことです。

末筆ながら、グループホームの開所は、春陽会ならびに父母の会の皆様のご尽力のおかげと、この場をおかりして御礼申し上げます。



計 報

大内 英さん

(アガベの里)

平木 利寿さん

(賛助会員として長い間
ご支援いただきました)

ご冥福をお祈りいたします。

あ と が き

私事ですが母が癌になり、母の治療の可能性や抗がん剤をいろいろ探している際に、これからは抗がん剤の治療は終わり免疫療法の時代になるという記事を読みました。代表的な薬として「ニボルマブ(オプジーボ)」という薬があります。今まで、癌細胞は自己細胞なので癌を殺すナチュラルキラー細胞を騙して自分を攻撃しないように鍵をかけて閉じこもっている状態らしいのですが、その鍵を壊して自分の免疫で癌細胞を死滅させるという今までと全く違った薬だそうです。現在一部ですが今後色々な癌に適用されるそうです。一方で保険適用になるということは国の負担が増えるということ、確かに製薬会社は莫大な開発費を回収する為に薬価を上げるを得ないと思いますが、それによって国民皆保険の制度が崩壊しかねない危機にあるとも書いてあり、不安を感じました。(近)